

H8/3694F と H8 マイコン基板について

北野 優

写真1は、トランジスタ技術2004年4月号の付録として提供されたH8マイコン基板MB・H8の全容です。42×37.6mmの片面基板の中央部にあるのは、16ビット・マイコンH8/3694F(ルネサス テクノロジ)です。H8/3694Fはシリーズ名で、H8/3694のフラッシュROMタイプという意味です。固有型名はHD64F3694FXです。

図1にH8マイコン基板MB・H8の回路図を、表1と表2に端子機能と主な仕様を示します。現在、MB・H8の互換品としてサンハヤト(株)からMB・H8AとMB・H8A・Pが販売されています(写真2。2004年10月時点)。したがって、本書では、MB・H8、MB・H8A、MB・H8A・Pをまとめて「H8マイコン基板」と表記します。また、16ビット・マイコンH8/3694Fを単にH8マイコンと表記している場合もあります。

トランジスタ技術2004年4月号では、H8/3694Fのプログラム開発ソフトウェアとして統合開発環境HEW3を使いました。本書では、H8/Tinyマイコンの統合開発環境であるHEW2無償版を使います。HEW2無償版やプログラム・ソース類、そしてそれらのインストール方法などは付属CD-ROMに収録さ

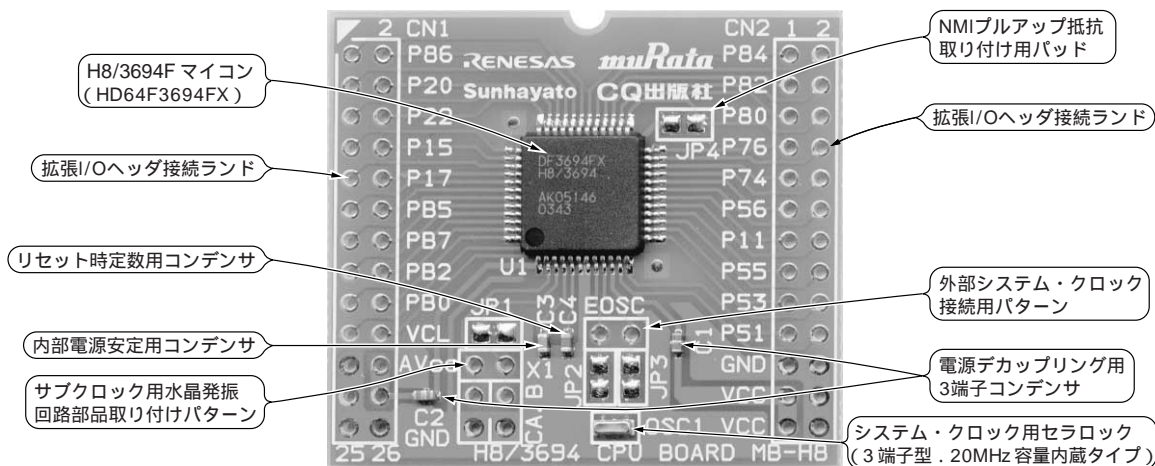


写真1 H8マイコン基板MB-H8の外観

